

寄附対象事業の例

京都・亀岡 駅北 SDGs プロジェクト

1 
**生物多様性型
 保津川公園の整備**
 グリーンインフラを活かした公園づくり



JR亀岡駅の北側に位置する同公園予定地は、天然記念物アユモドキをはじめとした稀少な動植物が息づくエリアです。

その特有な生態系と有機農業を中心とした原風景を保全・再生するとともに、この地の遊水機能を維持した自然エリアをグリーン・インフラとして活用し、人と自然の営みや仕組みを学び、ふれあい、体感できる公園として整備を行います。



景を保全・再生するとともに、この地の遊水機能を維持した自然エリアをグリーン・インフラとして活用し、人と自然の営みや仕組みを学び、ふれあい、体感できる公園として整備を行います。

2 
子どもの木育推進事業
 森林保全と子どもたちの豊かな心を育てる



(イメージ写真)

亀岡市は、穏やかな稜線の美しい山々に囲まれたまちです。しかし、近年は、林業の衰退等により地元産の木材に触れ親しみ、活用する機会が減少しており、森林や里山への関心の低下が荒廃を生み、生態系にも影響を及ぼす状況となっています。これらを解決するためには子どものときから自然や木に親しむことが大切であります。こうした中、亀岡市では、令和3年7月に「ウッドスタート宣言」を行い、府立京都スタジアム等において子どもの木育のための広場を整備し、子どもたちが木のおもちゃで遊んだり、体験したりすることで、身近な森や山、環境を守ることの大切さを学び、豊かな心を育てる、木を通じた教育「木育」の推進を図ります。

3 
**世界に誇れる
 環境先進都市 拠点施設整備**
 空きビルのリノベーション活用



亀岡市では、豊かな自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む「世界に誇れる環境先進都市」を目指しています。令和3年1月1日からは、全国に先駆け、市内小売店のプラスチック製レジ袋の提供禁止をスタートさせました。こうした取組を広く発信し、「環境」の下に多くの人が集い、交流し、つながることで、自然環境を守り育てる想いを世界に広げることを目的として空きビルを利活用した『環境先進都市・拠点施設』の整備を行います。



15 
**亀岡市交流会館
 『鳥の巣ロッジ』
 キャンプ場の整備**



亀岡市交流会館にある「鳥の巣ロッジ」は、野鳥のさえずりや木々の音などが心地よく、まるで「秘密基地・鳥の巣にいるようにゆっくりと過ぎる時間」を楽しむことができます。

現在はコテージ2棟・キャンプサイト2区画のキャンプ場ですが、より多くの人に亀岡市の豊かな自然を体感していただくため、今回新エリアを増設し、他にはない大自然を活かした自由で魅力的なキャンプ場となるように整備を進めてまいります。

亀岡市施策への 其他のご支援

ウイズコロナ、
 ポストコロナ社会に
 向けたまちづくり



スポーツ、歴史、文化、
 観光の魅力で
 産業が輝くまちづくり



防災・減災
 セーフコミュニティ、
 多文化共生のまちづくり



次代をリードする
 新産業を創出する
 まちづくり

